

令和5年6月8日	
資料提供	
担当	和歌山県立医科大学 【取材に関する事】事務局広報室 上野山室長・岩本準主事（内線5731） 【内容に関する事】1. 整形外科学講座 西山 講師（内線5366） 2. 内科学第3講座 赤松 准教授（内線5612）
電話	073-447-2300（大学代表）

和歌山県立医科大学記者発表

この度、和歌山県立医科大学からの記者発表を以下のとおり実施いたしますので、報道関係の皆様方のご参加賜りますようお願い申し上げます。

日時及び場所

日時：令和5年6月15日（木） ① 15：30～（約20分+質疑）

② 16：00～（約15分+質疑）

場所：本学紀三井寺キャンパス 生涯研修センター研修室（図書館棟3階）

Web上（ZOOM）オンラインでも開催

発表タイトル

① 人工関節手術支援ロボット「ROSA Knee システム」の導入について

② KRAS 遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する有望な治療方法を発表

※ 発表者と概要は次のページ参照

参加申込方法

【本学に来られる場合】

申し込みは不要です。

【オンラインで参加の場合】

事前にメールにて「件名：6/15 オンライン記者発表 参加申込」「本文：報道機関名、氏名」を記載のうえ、以下のメールアドレスまで送信ください。（発表5分前まで受付）参加に必要な URL を返信いたします。

メールアドレス： kouhou@wakayama-med.ac.jp

1. 人工関節手術支援ロボット「ROSA Knee システム」の導入について

発表者 整形外科学講座 講師 西山 大介 (にしやま だいすけ)
講師 福井 大輔 (ふくい だいすけ)
助教 山中 学 (やまなか まなぶ)

発表の概要

当院は、最新の人工関節手術支援ロボット「ROSA Knee システム」を近畿の公的病院で7番目に導入しました。和歌山県下公的病院では初となります。今回導入された手術支援ロボットは0.5 mm単位、0.5°単位の精度の高い安定した手術を可能にするだけでなく、患者ごとに異なる膝周辺の柔らかい組織の緊張の程度を加味して手術中に骨を切る量や角度を調整することができます。より精密な関節バランスの調整を行うことで、“しっかり伸びてよく曲がる、さらに安定している”という理想の人工膝関節手術が実現できると期待されています。当日はROSA Knee システムを使用した実例を含めて発表いたします。

2. KRAS 遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する有望な治療方法を発表

発表者 内科学第3講座 准教授 赤松 弘朗 (あかまつ ひろあき)

発表の概要

これまで高い奏効率をもつ治療法がなかった、KRAS 遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対して、当科が中心となり全国の研究者の協力を得て医師主導治験を行いました。

KRAS G12C 阻害剤（ソトラシブ）とカルボプラチン・ペメトレキセドの併用治療を受けた患者の約90%の方で腫瘍が半分程度に縮小するという非常に良好な結果が認められました。また、探索的な研究として血液中の腫瘍由来DNAを用いた次世代シーケンサーによる解析を行い、治療開始後のKRAS 遺伝子変異の増減が治療効果に相関している可能性を示しました。

結果は、がん領域における最大の国際学会である米国臨床腫瘍学会（通称：ASCO）において、非小細胞肺癌領域で特に注目すべき演題として oral presentation に選ばれ、報告されました。